

# Alibaba Cloud Object Storage Service

クイックスタート

Document Version20190515

# 目次

---

1	バケットの作成.....	1
2	オブジェクトのアップロード.....	4
3	オブジェクトのダウンロード.....	6
4	オブジェクトの削除.....	8
5	バケットの削除.....	9

# 1 バケットの作成

Alibaba Cloud OSS を有効にした後、OSS コンソールでオブジェクトを格納するためのバケットを作成します。

1. [OSS コンソール](#)にログインします。
2. [バケット作成] をクリックして、[バケット作成] ダイアログボックスを開きます。

Create Bucket

Note: Storage Class and Region cannot be changed after the bucket is created.

Bucket Name  0/63

Region

Products in the same region can communicate with each other over an internal network. The region cannot be changed after purchase. Exercise caution.

You do not have any available storage or traffic packages in this region. We recommend that you purchase a package.

Endpoint oss-cn-hangzhou.aliyuncs.com

Storage Class

Standard: high reliability, high availability, high performance, frequent access

[How to Choose a Suitable Storage Class](#)

Access Control List (ACL)

Private: Anyone who wants to read or write to the files will be authenticated.

Zone-redundant Storage

OSS can back up your data to three zones within the same region to provide data center disaster recovery. For more information, see [Details](#).

Log Service

Log service free provide recent 7 days of OSS log storage, user can the Bucket of access log the query analysis [More](#)

3. [バケット名] テキストボックスにバケット名を入力します。
  - ・ バケット名は命名規則に従う必要があります。
  - ・ バケット名は、Alibaba Cloud OSS 内にあるすべての既存のバケットの中で一意でなければなりません。
  - ・ バケット名は作成後に変更することはできません。
  - ・ バケットの命名規則についての詳細は、「[基本概念 \(Basic concepts\)](#)」をご参照ください。
4. [リージョン] ドロップダウンボックスで、バケットのデータセンターを選択します。

バケットの作成後にバケットのリージョンを変更することはできません。ECS イントラネットを經由して OSS にアクセスするには、ECS と同じリージョンを選択します。

5. [ストレージクラス] ドロップダウンボックスで、バケットのストレージクラスを選択します。



注:

バケットのストレージクラスは、バケットの作成後には変更できません。

- ・ 標準ストレージ: 高い信頼性、可用性、パフォーマンスを備えたオブジェクトストレージサービスであり、頻繁なデータアクセスをサポートします。
  - ・ 低頻度アクセスストレージ: 保存期間が長く、アクセス頻度が低いデータに適しています。単価は「標準ストレージ」クラスより低くなります。
  - ・ アーカイブストレージ: 長期保存 (半年以上) が必要なアーカイブデータの保存に適しています。保存期間中にアクセスされることは稀で、データを読み取り可能な状態に復元するのに1分ほどかかる場合があります。このストレージクラスは、アーカイブデータ、医用画像、科学資料、ビデオ映像を長期間保存するのに適しています。
6. [ ACL ] ドロップダウンボックスで、バケットのアクセス許可オプションを選択します。
- ・ 非公開: バケットの所有者と許可ユーザーだけが、バケット内のオブジェクトに対して読み取り、書き込み、および削除操作を実行できます。他のユーザーはバケット内のオブジェクトにアクセスできません。
  - ・ 公開用読み取り: バケットの所有者と許可ユーザーだけが、バケット内のオブジェクトに対して書き込み操作と削除操作を実行できます。誰でも (匿名アクセスを含む) バケット内のオブジェクトを読み取ることができます。
  - ・ 公開用読み取り/書き込み: 誰でも (匿名アクセスを含む)、バケット内のオブジェクトの読み取り、書き込み、および削除を行うことができます。



:

バケット操作によって発生する料金は、バケット所有者が負担します。そのため、「公開用読み取り」と「公開用読み取り/書き込み」アクセス許可は、慎重に使用してください。

7. [ゾーン冗長ストレージ] ドロップダウンボックスで、「有効」または「無効」を選択します。

- ・ 有効: [ゾーン冗長ストレージ] が有効になっていると、ユーザーのデータは同じリージョン内の3つのアベイラビリティゾーン (AZ) に格納されます。



注:

[ゾーン冗長ストレージ] を一度有効にすると、無効にすることはできません。

- ・ 無効: [ゾーン冗長ストレージ] は、デフォルトで無効になっています。

8. [ログ分析] ドロップダウンボックスで、「有効」または「無効」を選択します。
  - ・ 有効: [ログ分析] が有効になっている場合、ユーザーはバケットへのアクセスログを照会および分析できます。
  - ・ 無効: [ログ分析] はデフォルトで無効になっています。
9. [OK] をクリックします。

## 2 オブジェクトのアップロード

---

バケットの作成後には、任意の種類オブジェクト (ファイル) をアップロードできます。

バケット作成についての詳細は、「[バケットの作成](#)」をご参照ください。

次のいずれかの方法でオブジェクトをアップロードできます。

- ・ OSS コンソールを使用して5 GBより小さいオブジェクトをアップロードします。以下の手順をご参照ください。
- ・ 5 GB を超えるオブジェクトをアップロードするには、SDK または API を使用します。詳しくは、「[マルチパートアップロード](#)」をご参照ください。
- ・ オブジェクトをアップロードするには、グラフィカル管理ツール `ossbrowser` を使用します。詳しくは、「[ossbrowser](#)」をご参照ください。

1. [\[OSS コンソール\]](#) にログインします。
2. バケット名の一覧から、作成したバケットの名前をクリックします。
3. [\[ファイル\]](#) タブをクリックします。
4. [\[アップロード\]](#) をクリックします。
5. "ディレクトリアドレス" ボックスに、ファイルをアップロードするディレクトリを設定します。

- ・ 現在のディレクトリ: このオプションを選択すると、ファイルは現在のディレクトリにアップロードされます。
- ・ ディレクトリの指定: このオプションを選択した場合、ディレクトリを指定する必要があります。OSS は自動的に対応するフォルダを作成し、そのフォルダにファイルをアップロードします。



注:

フォルダについての詳細は、「[フォルダの作成](#)」をご参照ください。

6. [\[ファイル ACL\]](#) で、アップロードするファイルの読み取り/書き込み権限を選択します。デフォルトでは、ファイルはそれが属するバケットの読み/書き権限を継承します。

7. [アップロード] で、アップロードする 1 つまたは複数のファイルをこの領域にドラッグ、または [ダイレクトアップロード] をクリックしてアップロードする 1 つまたは複数のファイルを選択します。



注:

- ・ アップロードされたファイルがバケット内の既存のファイルと同じ名前の場合、元のファイルは上書きされます。
- ・ 1 つ以上のファイルをアップロードするときは、ページを更新、または閉じないでください。そのような操作があった場合、アップロードタスクは中断され、アップロードリストは消去されます。

## 3 オブジェクトのダウンロード

---

オブジェクトをバケットにアップロードすると、そのオブジェクトの URL を取得してダウンロードや、他のユーザーと共有などが可能になります。

オブジェクトがバケットにアップロードされている必要があります。詳しくは、[オブジェクトのアップロード](#)をご参照ください。

1. [OSS コンソール](#)にログインします。
2. バケット名のリストで、作成したバケットの名前をクリックします。
3. バケットの概要ページで、[ファイル タブ](#)をクリックします。
4. ダウンロードまたは共有するオブジェクトの名前をクリックするか、オブジェクトの右側にある [プレビュー](#)をクリックします。プレビューページには、次のオプションがあります。

- ・ [ダウンロード](#)：オブジェクトをローカルストレージデバイスにダウンロードします。

必要なオブジェクト数に応じて、次の方法でオブジェクトをダウンロードすることもできます。

- [複数のオブジェクトをダウンロード](#)：ファイルタブページで、複数のオブジェクトを選択してから、[一括操作 > ダウンロード](#)を選択します。
- [単一オブジェクトをダウンロード](#)：ファイルタブページで、オブジェクトを選択してから[詳細 > ダウンロード](#)を選択します。
- ・ [ファイル URL を開く](#)：ブラウザでオブジェクトを表示します。ブラウザで表示できないオブジェクト（Excel ファイルなど）は、URL を開くとダウンロードされます。



警告：

バケットにリファラーホワイトリストが設定されていて、空のリファラーが許可されていない場合、その URL をブラウザで直接開くことはできません。

- ・ **ファイル URL のコピー**：オブジェクトの URL をコピーして他のユーザーと共有し、ユーザーがその URL を使用してオブジェクトを表示またはダウンロードできるようにします。また、次の方法でファイルの URL を取得することもできます。
  - **1 ファイル以上の URL の取得**：ファイルページで、1 つ以上のファイルを選択してから、一括操作 > URL リストのエクスポートを選択します。
  - **1 ファイルの URL の取得**：ファイルページでファイルを選択し、詳細 > ファイル URL のコピーを選択します。

ACL が非公開のオブジェクトの URL を共有する場合は、オブジェクトの URL を取得するときにプレビューページで有効期間を設定する必要があります。有効期間のデフォルト値は 3,600 秒で、最大値は 64,800 秒です。



注：

- 署名付き URL の有効期間は、NTP に基づいて計算されます。オブジェクトの署名付き URL を他のユーザーと共有して、有効期間内に他のユーザーがその URL を使用してオブジェクトにアクセスできるようにすることができます。オブジェクトの ACL が非公開の場合は、バケットに格納されているオブジェクトの URL に署名が追加されません。詳しくは、[URL への署名の追加](#)をご参照ください。
  - バケットとオブジェクトの ACL を変更する方法の詳細については、[バケット ACL の変更](#)と[オブジェクト ACL の変更](#)をご参照ください。
- ・ **ファイルパスのコピー**：オブジェクトのパスをコピーします。オブジェクトを検索するとき、またはオブジェクトに透かしを追加するときにパスを使用できます（画像の場合）。

## 4 オブジェクトの削除

---

OSS にオブジェクトを保存する必要がなくなった場合は、それ以上の変更をしないように削除します。

OSS コンソールで、単一のオブジェクトまたは複数のオブジェクトを削除できます。コンソールでは一度に最大 1,000 個のオブジェクトを削除できます。選択したオブジェクトだけを削除する場合、または 1,000 個を超えるオブジェクトを削除する場合は、「OSS 開発者ガイド」の「[オブジェクトを削除](#)」をご参照ください。



警告：

削除されたオブジェクトは回復できません。慎重に操作を実行する必要があります。

1. [\[OSS コンソール\]](#) にログインします。
2. バケット名一覧から、削除したいバケットの名前を選択します。
3. [\[ファイル\]](#) をクリックします。
4. 1つまたは複数のオブジェクトを選択し、[\[削除\]](#) をクリックし、[\[ファイルの削除\]](#) ダイアログボックスを開きます。
5. [\[OK\]](#) をクリックします。

## 5 バケットの削除

---

不要になったバケットは、これ以上料金がかからないように削除します。

バケットを削除する前に、バケット内のすべてのオブジェクトが削除されていることを確認します。不完全なマルチパートアップロードによって生成されたオブジェクトも含まれます。すべてのオブジェクトが削除されないと、バケットを削除できません。



警告：

削除したバケットは復元できないので、バケットの削除は慎重に行う必要があります。

1. [OSS コンソール](#)にログインします。
2. バケット名リストで、削除対象のバケット名をクリックします。[バケットの削除]をクリックします。
3. 表示されるダイアログボックスで、[OK]をクリックします。